OUR DIALYSIS CARE

当院の透析管理指標

透析量・貧血・ミネラル代謝を定期的に確認し、
患者さんごとの状態に応じた診療に取り組んでいます。

当院の維持血液透析患者さんについて、診療で確認している主な指標をまとめました。治療目標は、ガイドラインを参考にしながら患者さんの病状や背景に応じて個別に判断します。

透析量（尿素Kt/V）

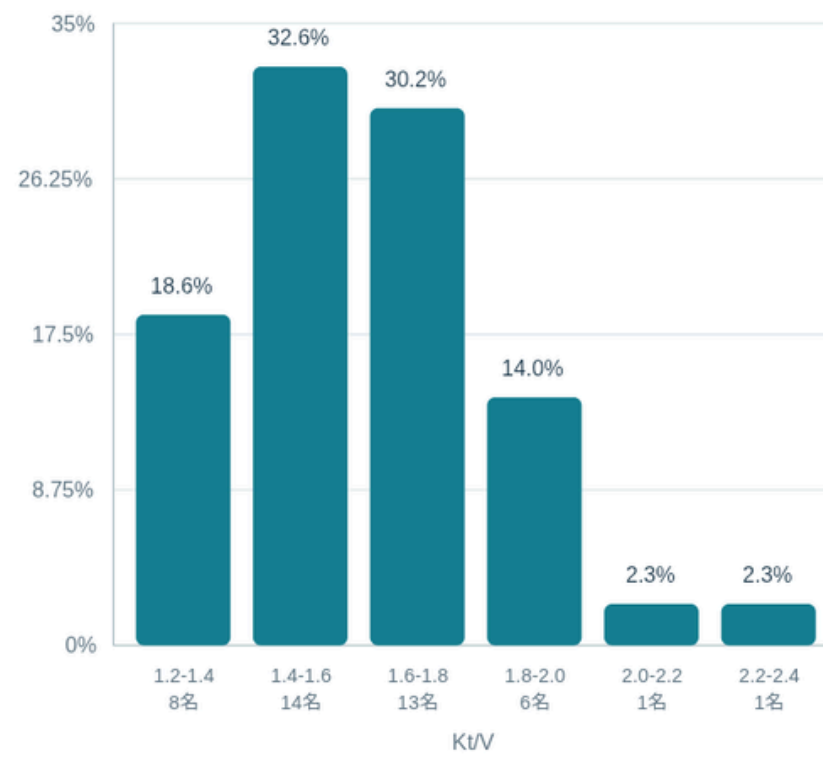
1.6 ±0.2（平均±標準偏差）

日本透析医学会は、週3回・1回6時間未満の維持血液透析において、spKt/V 1.2を最低確保値、1.4以上を望ましい目標値としています。

1.2以上　43 / 43名（100%）

1.4以上　36 / 43名（83.7%）

Kt/Vの患者分布（n=43）



集計対象・データについて

集計対象は2026年10月末時点の維持血液透析患者43名です。年齢は63±12.5歳（平均±標準偏差）、透析歴は1.8年［1.4, 5.5］（中央値［四分位点］）です。

当院への転院後1か月以内の方、および血液透析導入後3か月未満の方は除外しています。

データ出典：当院の採血検査結果および透析管理システム「フューチャーネット」に記録された2026年10月のデータ。

骨・ミネラル代謝、貧血の管理

iPTH（副甲状腺ホルモン）

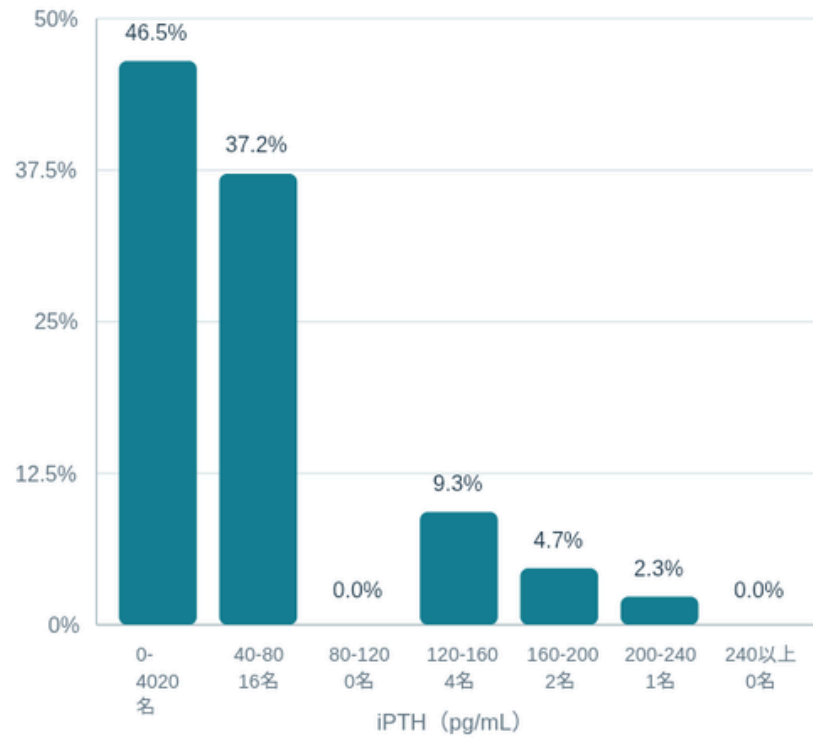
40 pg/mL（中央値）

四分位範囲：23.8〜70.2 pg/mL

日本透析医学会のCKD-MBD診療ガイドライン（2025年改訂版）では、iPTHの管理目標を240 pg/mL未満の範囲で患者さんごとに設定することが提案されています。

240 pg/mL未満　43 / 43名（100%）

iPTHの患者分布（n=43）



ヘモグロビン（Hb）

10.9 ± 1.02 g/dL

成人血液透析患者の目標値は10 g/dL以上、12 g/dL未満（週初め採血）。当院の平均値はこの範囲内です。

血清リン（P）

4.4 ± 0.95 mg/dL

管理目標は3.5 mg/dL以上、5.5 mg/dL未満。当院の平均値はこの範囲内です。

掲載データについて

平均値は平均±標準偏差、iPTHは中央値と四分位範囲で表示しています。集団の数値は個々の患者さんの治療効果を保証するものではありません。治療方針・目標値は診察や検査結果に基づき個別に判断します。

参考：日本透析医学会「維持血液透析ガイドライン：血液透析処方」「腎性貧血治療ガイドライン」「CKD-MBD診療ガイドライン2025年改訂版」